

花巻ガス(株)からのお願いです！

水道、ガス機器の凍結にご注意ください！



水道管の凍結防止のための水抜きについて

外気温が氷点下(おおむね0℃以下)になると、水道管が凍結する恐れがあります。日が当たらない、風当たりが強い、水道管がむき出しになっている場所は特に注意が必要です。水道管の凍結をふせぐためには「水抜き」、「凍結防止ヒーター差込み」の作業が必要です。

水抜き栓の設置場所

台所・風呂場・トイレ・洗面所・ボイラー・洗濯機等、水を使う場所の近くが多いですが、建物ごとに異なります。水抜き栓の場所がわからない場合は建築時の図面等を確認するか、建築業者様にお問い合わせください。

アパートや貸家で、水抜き栓の場所がわからない場合は、管理会社様等へお問い合わせください。

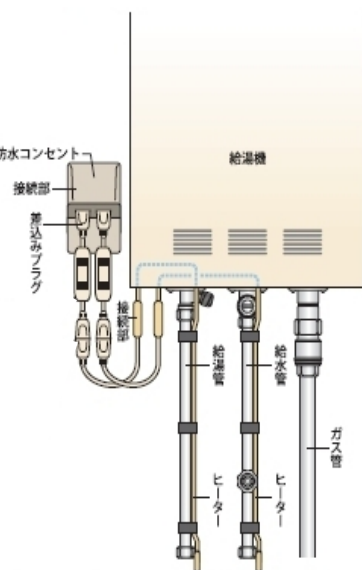
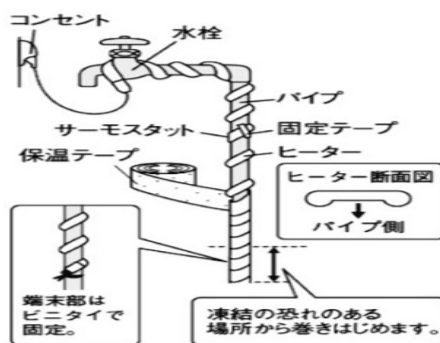
凍結防止ヒーターについて

①屋外にガス給湯器等が設置されている場合、給水・給湯配管の

凍結防止ヒーターをコンセントへ接続してください。

②ヒーターの電源が入っているかどうかの確認をお願いします。

コンセント接続後ヒーターが温くなるか確認をし温かくならない場合は、ヒーターの経年劣化、故障が考えられますのでお取替えをおすすめします。
「お取替え目安は**設置後10年**です。」



凍結防止ヒーター取替え承っております。お気軽にお問い合わせください。

ESヒーター**3,300円(税込)～/1m～** ・ 耐熱保温チューブ**1,200円(税込)～/1m～**

取替作業費**6,000円(税込)/mあたり**

○お問合せ先

24時間365日体制で安全、安心を提供する



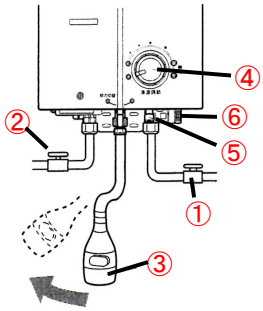
花巻ガス株式会社

TEL 0198-22-3633 FAX 0198-24-9089

URL <http://www.hanamakigas.jp>

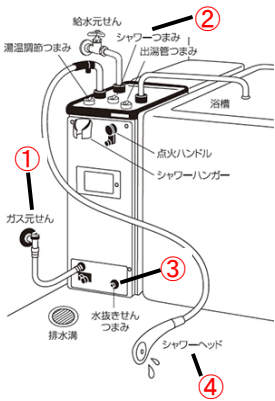
《 重 要 》

小型瞬間湯沸器の水抜きについて

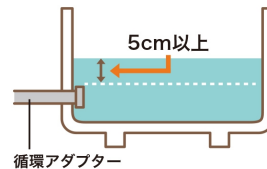


- (1) ①給水元栓と②ガス栓を閉めてください。
不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を開けてください。
- (2) キッチンシャワー③の切り替えボタンをストレート出湯に操作し、さらに矢印の方向へ傾けてください。
- (3) 湯温調節つまみ(操作ボタン)④を「水」の位置にして押してください。
- (4) 水抜き栓⑤・水フィルター⑥をはずして機器内の水を完全に抜いてください。
このとき水抜き栓⑤・水フィルター⑥から水が流れ出ますので、容器等で受けてください。

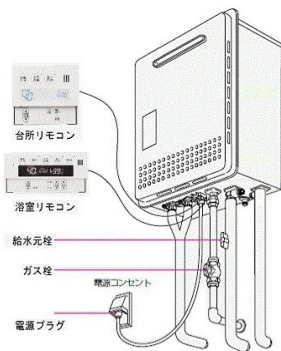
浴室内設置ガスふろ釜の水抜きについて



- (1) ①ガス栓を閉めてください。
- (2) ②出湯レバーまたはツマミを出湯の位置にし、水が出てきたら水の元栓を閉めください。
- (3) ③水が止まったら、ふろ釜の下にある水抜き栓を外して水を完全に抜いてください。
* 機種により異なる場合がございます。
- (4) ④最後に、シャワーヘッドを床に置いたままにしてください。
- (5) 浴槽の残り湯は流さずに、循環口の上の部分より5cmより多く残り湯を残したままにしておけば、凍結予防になります。



屋内、屋外設置ガス給湯器凍結予防について



- (1) ガス給湯器本体の電源プラグを入れておくと、機器内部の凍結予防ヒーターで自動で凍結予防をします。
- (2) リモコン運転スイッチ「入」「切」に関係なく自動的に凍結予防します。
- (3) 給水・給湯配管に凍結防止ヒーターが設置されている場合は、そのヒーターの電源プラグの差し込んでヒーターが作動しているかも確認し、作動させてください。
* コンセント差し込み後、ヒーターが温くなるか確認してください。
- (5) 浴槽の残り湯は流さずに、循環口の上の部分より5cmより多く残り湯を残したままにしておけば、自動運転で凍結予防の循環ポンプが稼働します。
* 機種により異なる場合がございます

